

EFサドルS2A型(分岐呼び径20・25) せん孔の手順およびご注意

○サドルのせん孔は、下表の「せん孔・水圧試験までの冷却時間」経過後に行ってください。

条 件		融着後の冷却時間 (クランプ保持時間) (A)	有圧時せん孔および 水圧試験実施に 必要な冷却時間 (B)	せん孔・水圧試験までの 冷却時間 (A+B)
空管でせん孔する場合		10分以上	－	10分以上
管内に水圧が負荷されている状態(通水管)で せん孔する場合(管内水圧0.75MPa以下)			30分以上	40分以上
水圧試験を行った後に、 せん孔を行う場合	試験水圧 1.0MPa以下		30分以上	40分以上経過後、 せん孔・水圧試験が可能
	試験水圧 1.0MPa超 (最大 1.75MPa)		1 時間以上	1 時間 10 分以上経過後、 せん孔・水圧試験が可能

- EFサドル分岐20・25用せん孔工具、又はEFサドル全タイプ兼用せん孔工具(以下、せん孔工具)をご使用ください。
 その他のせん孔工具を使用されますと、せん孔カッターの脱落等の不具合が生じる恐れがありますので、
 ご使用にならないでください。
 ○保護具を着用して施工してください。

作業手順

1. サドルからキャップを取り外す。

注) インキャップがキャップから外れて、サドルとせん孔カッターの間に挟まっている場合、①せん孔工具を挿込み、②反時計回りに回して、せん孔カッターを上昇させた後、③インキャップを取外す。(図1参照)

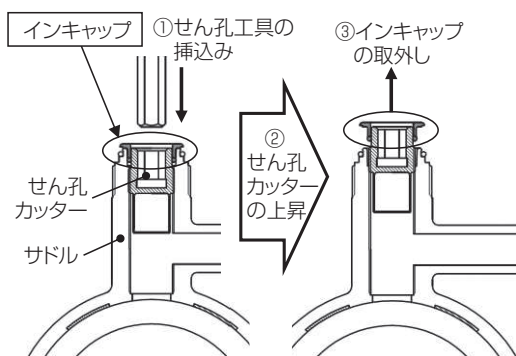


図1 インキャップが、サドルとせん孔カッターの間に挟まっている場合

2. サドルに内蔵されているせん孔カッターに、せん孔工具を挿込む。(図2参照)

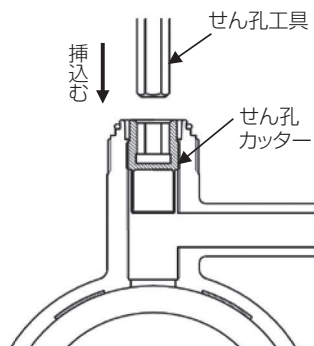


図2 せん孔工具の取付

3. せん孔工具を時計回りに回してせん孔する。せん孔工具の目盛り線がサドルの上面にくるまで送りをかけてせん孔が完了。(図3参照)

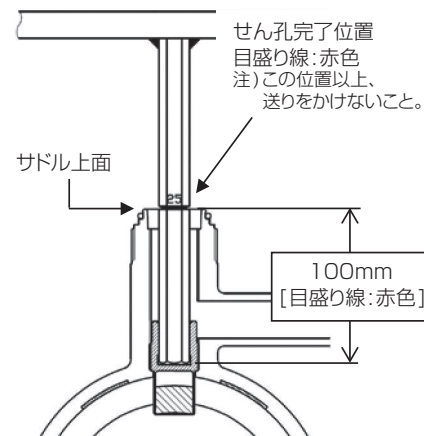


図3 せん孔状況

4. せん孔終了後、せん孔工具を反時計回りに回し、せん孔カッターをサドルの上面まで引上げる。(図4参照)

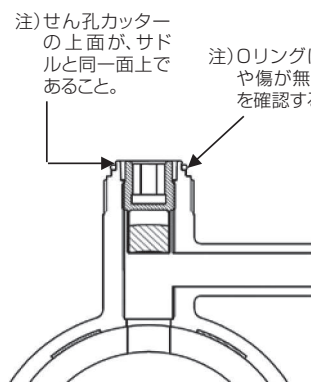


図4 せん孔カッターの引上げ

5. キャップを取付け、手で最後まで確実に締付けて、せん孔作業完了。(図5参照)

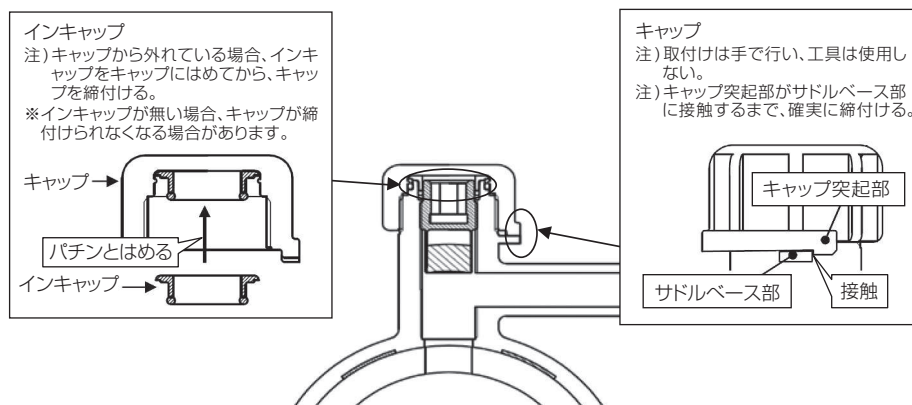


図5 せん孔完了